

2022年4月28日

看護研究に関する情報

当講座では、下記の看護研究を実施しております。この研究は、教育用に保管された資料を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和3年3月23日制定、令和4年3月10日一部改正。文部科学省・厚生労働省・経済産業省）に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、資料をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。資料の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています（承認番号：2022-053）。

[研究課題名]

複線径路・等至性モデル（TEM）を用いた看護学生のスピリチュアルケア過程の検討

[研究の目的]

本研究の目的は、看護学生が患者さんに行ったスピリチュアルケア過程の実態を明らかにすることです。

[研究の方法]

○研究対象

2019年度と2020年度の医学部看護学科開設科目、3年生を対象とする成人慢性期・終末期看護学実習を履修した看護学生のレポート122件です。

○利用する最終レポート

利用する資料は、成人慢性期・終末期看護学実習のレポート122件分のうち、選択基準に適合した5件です。

○選定基準

レポートの選定基準は、患者の人生経験や価値観の記述、ゴードンの11項目の枠組みのうち、「価値／信念」の項目内容の記述、患者のスピリチュアルの看護診断と看護計画、患者へのスピリチュアルケアの実践と評価が記述された文章とします。

○分析対象の選択方法とデータの収集方法

- ①2019年度と2020年度の医学部看護学科3年生の成人慢性期・終末期看護学実習のレポートは、研究責任者とは異なる単位責任者によって成績評価を終了しています。
- ②全員のレポートを精読し、上記選定基準を満たしたものを分析対象とします。5件が選定された時点で選定を終了します。
- ③分析対象の5件のレポートの該当文章を原文のまま抽出しエクセルに記録し、電子データベースを作成します。その際、学籍番号や年齢、氏名など個人が特定される文章はエクセルに抽出されません。
- ④以降の作業は、匿名化された電子データベースを用いて行われます。

[外部への情報の送付]

利用する香川大学（機関の長：医学部長 三木崇範）所持の情報等は、結果の妥当性担保に係るスーパーバイズを受けるため、個人情報が含まれない切片化された分析データとし、電子システムを使用して高知大学に送付します。

[研究組織]

研究責任者：

香川大学自然生命科学系 慢性期成人看護学 助教 上原星奈

研究分担者：

香川大学自然生命科学系 慢性期成人看護学 教授 清水裕子

研究協力者：

高知大学教育研究部人文社会科学系人文社会科学部門 准教授 小島優子

[当施設における情報の保管管理責任者]

香川大学自然生命科学系 慢性期成人看護学 助教 上原星奈

この研究について、研究計画や研究に関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の看護学生の個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する看護学生の個人情報に関しては、お名前を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も皆さまを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川大学自然生命科学系 慢性期成人看護学 上原星奈

住所 〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸 1750-1

電話 087-891-2232

FAX 087-891-2232

E-mail uehara.hoshina@kagawa-u.ac.jp